

<p>(基本的な考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 当面想定困難なインバウンド関連以外の目標値を整理 <input type="checkbox"/> 国の次期計画公表後、インバウンド関連の項目を含め再整理 	<p>(指標設定の考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「中間取りまとめ」の施策展開の方向性に沿って指標を整理 <input type="checkbox"/> ウイズコロナ期における安全・安心の観点から、新たに「コロナ対応の評価」追加 <input type="checkbox"/> 「道内客の宿泊旅行への転換」を図るとともに、「道外客の取り込み」に注力 <input type="checkbox"/> ポストコロナ期を見据え、ATWSを契機としたATの観点から、新たに「コト消費」の指標を追加
---	---

施策展開の方向性		指標	分類	R1 実績	R2 実績	R7 目標	
クリーン×セーフティ 北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道スタイル、業種別感染症対策ガイドラインの徹底などによる安全・安心の提供 ・広大な自然、密になりにくいアウトドア環境など本道の価値・優位性を再評価 ・積極的な情報発信 ・環境と共生する観光の推進 	コロナ対応の評価(点) 新規	道内客	-	4.4	5	
			道外客	-	4.5	5	
量×質の追求	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会における道内観光の高付加価値化 ・地元(道民)からも愛される観光地づくり ・自然環境・食など本道の観光資源のブランド力強化による新規誘客・リピーターの獲得 ・富裕層向け商品・サービスの充実による質の向上 ・AI、IoT等先端技術導入による観光産業の収益構造の改善 	満足度(%)	道内客	31.6	32.3	修正2 47 40	
			道外客	44.3	37.1	修正2 57 50	
		観光消費額単価(円)	道内客	13,432	9,080	15,000	
			道外客	70,773	67,733	79,000	
旅行者比率の リバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・道民の道内再発見、国内旅行の需要喚起 ・渡航制限解除等を見据えた海外需要の獲得 ・欧米等新規市場の開拓による市場拡大 	観光入込客数(万人)	道内客	4,441	2,945	4,880	
			道外客	592	219	700	
			外国人	244	-	※	
		修正2	リピーター数(万人)	道外客	471	186	570
			道内宿泊客の割合(%)	道内客	21	13.6	修正2 22
			道内宿泊者数(万人) 新規		934	401	1,074
			繁忙・閑散期の比率(%)	宿泊延数比	57.1	-	修正2 68 60
修正2	道央圏以外の宿泊比率(%)	宿泊延数比	40.4	-	修正2 50 50		
道央圏以外の宿泊者数(万人) 新規	宿泊延数	1,261	-	1,540			
新しい旅行スタイル の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・本道の自然等を活かしたワーケーションの創造などによる滞在型観光の推進 ・ATWSを契機に本道の自然・文化等の特性を活かしたアドベンチャートラベルの造成・発信 ・MICE・IRなど新たなインバウンド等の取込方策の検討 	観光消費額単価に占める コト消費の割合(%) 新規	道内客	4.8	6.7	10	
			道外客	4.2	6.5	10	
		修正2	宿泊客延数(万人泊)	国内客	2,866	-	3,500
			長期滞在者の割合(%)	道外客	13.5	-	修正2 19
長期滞在者の数(万人)	80	-	112				
観光インフラの 強靱化	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光の拠点としての道内空港の利活用 ・観光産業を支える人材の確保・育成 ・災害時等に観光客の安全・安心に資する基盤の強化 	地方空港利用来道率(%) 新規	新千歳・ 丘珠以外	19.8	-	22	
		アウトドア関連人材指標 新規	別途確認 (アウトドア活動振興推進計画が決定後、設定)				

※ インバウンド関連の指標については、国の次期「観光立国推進基本計画」公表後に検討し、設定予定